

国際標準化に伴い、 ヘモグロビン・エイワンシー HbA1cが変わります

糖尿病は慢性的に血糖値が高くなる病気です。
HbA1cはヘモグロビン・エイワンシーと読み、
過去1～2ヵ月間の血糖値の平均を反映し、
糖尿病の診断にも使われます。

2012年4月から、新しいHbA1c(NGSP)が使われます。

これまでのものから、およそ0.4%高くなります。
以前のHbA1cの数値と比較するときは、0.4%引いて考えてください。

